

(国際・地球環境・食糧問題に関する調査会)

国際問題、地球環境問題及び食糧問題に関する調査報告(中間報告)要旨

本調査会は、国際問題、地球環境問題及び食糧問題に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、平成二十二年十一月十二日に設置された。二年目は「世界の水問題と日本の対外戦略」のテーマの下、「アジアの水問題」について調査を行い、有識者等の参考人及び政府から意見又は説明を聴取し質疑を行ったほか、委員間の意見交換、兵庫県及び大阪府への委員派遣並びに土木研究所の視察を行った。平成二十四年六月十三日、二年目の調査を取りまとめ、調査報告書(中間報告)を議長に提出した。

その主な内容は次のとおりである。

一 タイにおける洪水被害とその対応

二〇一一年十月初めよりタイで起きた大規模な洪水により、市民の生活等への打撃のほか、日系企業の被災を通じた我が国経済への深刻な影響も懸念された。調査会においては、政府及び参考人から洪水の全般的状況と緊急の対応状況、タイ政府の短期・長期の対策等について指摘がなされた。質疑においては、洪水被害とタイ政府の対応、我が国による洪水被害支援、タイ進出日系企業の動向と支援、洪水の農業へ

の影響と支援、海外進出企業の洪水リスク管理と政府の支援、我が国の防災協力における水関連技術の積極的活用とハード及びソフト両面の防災パッケージ提供の重要性等について論議が行われた。

二 インドシナ半島等東南アジアの水問題の現状と課題

東南アジアでは、年間降水量は多いものの季節による変動が大きい中で、農業用水に加え工業化や都市化を背景として水需要が高まる一方水質の悪化も進んでおり、適切な水の管理の重要性が一層高まっている。調査会においては、参考人から日本の治水技術をいかした国際貢献、タイでの洪水の状況と我が国の貢献と今後の課題、途上国との「共創」による水ビジネス等について指摘がなされた。質疑においては、東南アジアの水問題と我が国の協力の在り方、水災害の防止と対策、水ビジネスの現状と課題、我が国における水問題への対応、水分野の国際協力のための基盤の整備等について論議が行われた。

三 中央アジア及び南アジアの水問題と我が国の取組

中央アジアでは、降水量が少ない中で、近年、水不足の拡大と水界生態系の劣化のほか、国際河川における流域国の利害対立も生じている。また、南アジアでは、洪水等の水災害に見舞われる一方で、近年、都市化の進展に伴う人口集中と水不足、地下水等の水質悪化による健康被害などが大きな問題となってい

る。調査会においては、参考人から中央アジアの水問題への日本の関与の在り方、中央ユーラシアの水環境問題の背景と解決の道筋、南アジアにおけるミレニアム開発目標と水問題の現状等について指摘がなされた。質疑においては、中央アジア及び南アジアの水問題と支援の在り方、国際水路における権利と国際動向、水問題とその解決のための取組、水ビジネス海外展開の在り方、地方自治体による水ビジネスの海外展開等について論議が行われた。

四 中国の水問題と我が国の取組

中国では、近年、生活・工業用水の需要の増大などにより北部地域を中心に深刻な水不足に直面するとともに、工場排水等による水質汚染や上下水道設備による不十分な浄化処理等から水質面の問題も深刻化するなど、水問題が重要な環境問題となっている。調査会においては、参考人から中国の水問題と我が国の取組、中国を含む各国の水ビジネス戦略、中国の環境政策と水ビジネス等について指摘がなされた。質疑においては、中国における水問題への対応、水ビジネスの状況、中国の水問題への日本の取組、水分野への日本の取組の課題と在り方、海外における上下水道ビジネス等について論議が行われた。

五 アジアの水問題への取組の課題

アジアにおいては、安全な飲料水供給と衛生設備の整備、水関連災害への対策、国際河川の適切な管理等の多様な水問題がある中で、我が国は、持てる技術や知見を活用しつつ優れた貢献を行うことが求められている。調査会においては、参考人からアジア地域の水問題の現状と水ビジネス国際展開に向けた取組、世界の食糧需給と水問題、メコン川流域開発問題等について指摘がなされた。質疑においては、水問題の現状と将来、アジアの水問題解決における日本の役割、水ビジネスの課題と在り方、メコン川流域管理における日本の役割、水道事業の民営化をめぐる諸問題、水分野等における日本のODAの課題、食料自給率向上の重要性等について論議が行われた。

六 アジアの水問題への取組の在り方

我が国にとり、水と衛生の分野での質の高いODAの供与や、政府・自治体と企業との連携等によるビジネスを通じた国際貢献を行うことが重要であるとの指摘がなされている。委員間の意見交換においては、水問題への取組に当たっての基本的な考え方、国際協力の課題と取組のための国内体制の整備、水ビジネスの展開における課題と体制整備の重要性、我が国の技術の活用、食料生産と水との関わり等に関する意見が示された。